



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラク：トルコとの水資源をめぐる問題

(6月20日付イラク紙報道)

1. トルコは、17日よりユーフラテス河への水資源放流量を1秒間当たり515 m³に引き上げた。この件に関してハーシミー・イラク副大統領事務所は下記のプレス・リリースを発表した。

- (1) ハーシミー副大統領は、エルドアン・トルコ首相より、トルコとしてユーフラテス河の水資源放流量を1秒間当たり515 m³に引き上げ、7-9月にかけて徐々に715 m³まで引き上げる事に合意するとの書簡を受領した。
- (2) この合意は、先週ハーシミー副大統領がトルコを訪問し、アブドゥッラー・ギュル・トルコ大統領及びエルドアン首相との会談結果に基づくものである。両会談においてハーシミー副大統領はこの件に関するトルコ側の迅速な対応に謝意を表すると共に、イラクへの安定した水資源供給を保障することになるトルコ、シリア及びイラクの3ヶ国の水資源省による水資源の共同利用に関する協定締結に向けた委員会の活性化の必要性について指摘した。

2. 18日、ラシード水資源相は次の通り述べた。

- (1) イラクはチグリス及びユーフラテス河の急激な水量低下、降雨及び降雪量の減少によって深刻な水資源不足に陥っている。イラクはトルコやシリアも共有している両河の水資源に依存しているが、いずれの国も水資源を利用した独自の開発を行っているところ、水資源の利用に関しては公平かつ詳細な水資源の配分を定めるための協議を関係諸国の間で実施する事が不可欠である。
- (2) イラクへの水資源量配分の増加、現在及び将来における公平な水資源の確保に向けた近隣諸国との協議は現在進行中である。それらの国々との間では水資源の分布やダム建設等に関する情報交換を行う事も重要である。